



杉並区

都大会で優勝、全国大会へ

28.7.12  
杉並区広報課

## せんなん 泉南中生徒が放送コンテストの優勝を報告

12日、第33回NHK杯全国中学校放送コンテストの東京都予選のラジオ番組部門で、見事優勝を飾った区立泉南中学校（堀ノ内1-3-1）放送演劇部の部員が、区長・教育長を表敬訪問しました。今後は、8月6・7日の全国大会の予選審査を経て、8月18日に千代田放送会館（千代田区）で開催される全国大会での優勝を目指します。

全国の中学校・高校の放送部や演劇部が目標にしているのが、NHK杯全国放送コンテストです。中学校部門は、昭和59年から開催され、今年が33回目となります。アナウンス、朗読、ラジオ番組、テレビ番組の4つの部門で争われ、東京都大会には42校が参加しました。

今年度の泉南中学校の放送演劇部は、3年生10名、2年生2名、1年生4名、女子14名です。毎年、このNHK杯の全国大会を目指し活動しています。今年、ラジオ番組部門に「杉並から世界へ」をテーマにエントリーし、見事、都大会優勝を勝ち取りました。

4月、3年生の部員が第五福竜丸展示館を訪ね、60年前の原水爆禁止署名に、学校がある杉並区堀ノ内在住の方の署名を見つけたことが、きっかけとなりました。学校内で、部員も含めそのことを知る生徒はいませんでした。しかし、学校警備員さんから、「それは昔、主婦を中心に運動があった」と教えられ、区内の女性団体を尋ねたところ、話を聞くことができました。それは、

米国が行ったビキニ環礁での水爆実験で、近くの海域で操業していた第五福竜丸が被爆し、マグロなどの海産物の安全性を心配した杉並区の女性たちが立ち上がったというもので、日本から世界に広がる原水爆禁止運動につながったということをラジオ番組としてまとめ、今回発表したものです。番組の最後には、「わたしたちのおばあちゃんの世代が核兵器をなくす運動をしたにもかかわらず、いまだに核兵器はなくなっていない。どうすればいいんだろう。」と結ばれています。



12日午後4時30分、泉南中の放送演劇部のメンバーが、区役所を訪問。田中良区長と井出隆安教育長に、東京都予選での優勝と全国大会への意気込みを報告しました。NHK杯全国大会とともに、8月18・19日には、大分県大分市で開催される第16回全国中学校総合文化祭大分大会にも出場することになっています。